

議 事 録

日時 2026年1月19日 17:00～18:00
 場所 品川プリンスホテル 会議室(東京都港区高輪4-10-30)

	出席委員	性別	構成要件	当会との利害関係	出欠	備考
委員長	佐藤 明男	男	②	無	出	
副委員長	高田 章好	男	③	有	出	
委員	巖本 三壽	男	①	無	出	
委員	大谷 慎一	男	④	無	出	
委員	河村 優子	女	③	無	出	
委員	松田 純	男	⑥	無	出	
委員	林 俊孝	男	⑤	有	出	
委員	大友 香里	女	③	無	出	
委員	小風 暁	男	⑦	無	出	
委員	白田 智彦	男	②	無	出	
委員	藤巻 弘	男	②	無	出	
委員	斎藤 全一郎	男	⑧	無	出	
委員	渡部 みゆき	女	⑧	無	欠	
委員	西條 明日香	女	⑧	無	欠	

構成要件:

- ①分子生物学、細胞生物学、遺伝学、臨床薬理学又は病理学の専門家
- ②再生医療等について十分な科学的知見及び医療上の識見を有する者
- ③臨床医(現に診療に従事している医師又は歯科医師)
- ④細胞培養加工に関する識見を有する者
- ⑤法律に関する専門家・人権・医療に係る業務経験者
- ⑥生命倫理に関する識見を有する者
- ⑦生物統計その他の臨床研究に関する識見を有する者
- ⑧①～⑦以外の一般の立場の者

はじめに佐藤委員長より、厚生労働省令第110号、140号および当会審査業務規程第17条に充足しており、本委員会は成立要件を満たしていることの確認と報告があった。

1.審議事項

計画番号/受付番号	PB3230188	
【定期報告】申請者	いくこ皮フ科クリニック	
再生医療等の名称	多血小板血漿(PRP)を用いた変形性関節症に対する疼痛緩和	
事務局受領日・事前審査日	2025/12/18	
議決不参加	なし	
【議論の概要】	期間中実績158例646件、有害事象の発生はなかったとの報告を了承した上で、報告書を確認した。評価の方法についても妥当と認めた。席上、いずれの委員からも特段の異見はなく、全会一致で当該定期報告を妥当と認め、継続して差し支えないと決した。	

【結論】 適切

計画番号/受付番号	PB5230053	
【定期報告】申請者	医療法人社団甲南回生 松本クリニック	
再生医療等の名称	脂肪由来幹細胞を用いたしわ・たるみ治療	
事務局受領日・事前審査日	2025/12/18	
議決不参加	なし	
【議論の概要】	期間中実績3例6件、有害事象の発生はなかったとの報告を了承した上で、報告書を確認した。評価の方法についても妥当と認めた。席上、いずれの委員からも特段の異見はなく、全会一致で当該定期報告を妥当と認め、継続して差し支えないと決した。	

【結論】 適切

計画番号/受付番号	PB3220114	
【定期報告】申請者	医療法人社団小崎会 常盤台らいおん整形外科	
再生医療等の名称	多血小板血漿(PRP)による変形性関節症治療	
事務局受領日・事前審査日	2025/12/18	
議決不参加	なし	
【議論の概要】期間中実績1例2件、有害事象の発生はなかったとの報告を了承した上で、報告書を確認した。評価の方法についても妥当と認めた。席上、いずれの委員からも特段の異見はなく、全会一致で当該定期報告を妥当と認め、継続して差し支えないと決した。		
【結論】	適切	

計画番号/受付番号	PB3200098	
【定期報告】申請者	湘南美容クリニック新宿本院	
再生医療等の名称	自家脂肪組織由来幹細胞(ASC)を用いた乳房組織増大術	
事務局受領日・事前審査日	2025/12/18	
議決不参加	なし	
【議論の概要】期間中実績16例16件、有害事象の発生はなかったとの報告を了承した上で、報告書を確認した。評価の方法についても妥当と認めた。席上、いずれの委員からも特段の異見はなく、全会一致で当該定期報告を妥当と認め、継続して差し支えないと決した。		
【結論】	適切	

計画番号/受付番号	PB3200096	
【定期報告】申請者	湘南美容クリニック新宿本院	
再生医療等の名称	自家脂肪組織由来幹細胞(ASC)を用いた軟部組織移植術	
事務局受領日・事前審査日	2025/12/18	
議決不参加	なし	
【議論の概要】期間中実績はなかったとの報告を了承した上で、報告書を確認した。席上いずれの委員からも特段の異見はなく、全会一致で当該定期報告を妥当と認め、継続して差し支えないと決した。		
【結論】	適切	

計画番号/受付番号	PB3210117	
【定期報告】申請者	湘南美容クリニック品川院	
再生医療等の名称	脂肪組織移植と自家脂肪組織由来幹細胞を併用した軟部組織移植術	
事務局受領日・事前審査日	2025/12/18	
議決不参加	なし	
【議論の概要】期間中実績はなかったとの報告を了承した上で、報告書を確認した。席上いずれの委員からも特段の異見はなく、全会一致で当該定期報告を妥当と認め、継続して差し支えないと決した。		
【結論】	適切	

計画番号/受付番号	PB5200036	
【定期報告】申請者	近畿大学病院	
再生医療等の名称	多血小板血漿(PRP)を用いた変形性関節症・関節炎の疼痛緩和	
事務局受領日・事前審査日	2025/12/18	
議決不参加	なし	
【議論の概要】期間中実績21例25件、有害事象の発生はなかったとの報告を了承した上で、報告書を確認した。評価の方法についても妥当と認めた。席上、いずれの委員からも特段の異見はなく、全会一致で当該定期報告を妥当と認め、継続して差し支えないと決した。		
【結論】	適切	

計画番号/受付番号	PB2190003	
【変更】申請者	JR仙台病院	
再生医療等の名称	多血小板血漿(PRP)の投与による変形性関節症治療	
事務局受領日・事前審査日	2025/12/18	
議決不参加	なし	
【議論の概要】申請者からの、提供内容変更の安全性、評価方法の具体化など、それらに伴う記載内容の変更など内容確認したところ、全会一致で当該変更内容を妥当と認め、適切と決した。		
【結論】	適切	

計画番号/受付番号	PB3180070	
【変更】申請者	医療法人社団活寿会 大宮ひざ関節症クリニック	
再生医療等の名称	多血小板血漿(PRP)の投与による変形性関節症治療	
事務局受領日・事前審査日	2025/12/18	
議決不参加	なし	
【議論の概要】申請者からの、提供医師の追加、変更およびそれに伴う文書の変更について内容確認したところ、特に異見はなく、全会一致で当該提供計画変更を妥当と認め、適切と決した。		
【結論】	適切	

計画番号/受付番号	PB3190073	
【定期報告】申請者	医療法人社団活寿会 横浜ひざ関節症クリニック	
再生医療等の名称	脂肪組織由来幹細胞(ASC)の投与による関節治療	
事務局受領日・事前審査日	2025/12/18	
議決不参加	なし	
【議論の概要】期間中実績224例239件、有害事象の発生はなかったとの報告を了承した上で、報告書を確認した。評価の方法についても妥当と認めた。席上、いずれの委員からも特段の異見はなく、全会一致で当該定期報告を妥当と認め、継続して差し支えないと決した。		
【結論】	適切	

計画番号/受付番号	PB1200002	
【定期報告】申請者	医療法人社団活寿会 札幌ひざ関節症クリニック	
再生医療等の名称	自家脂肪組織由来幹細胞(ASC)の投与による関節治療	
事務局受領日・事前審査日	2025/12/18	
議決不参加	なし	
【議論の概要】期間中実績141例161件、有害事象の発生はなかったとの報告を了承した上で、報告書を確認した。評価の方法についても妥当と認めた。席上、いずれの委員からも特段の異見はなく、全会一致で当該定期報告を妥当と認め、継続して差し支えないと決した。		
【結論】	適切	

計画番号/受付番号	PB5240061	
【定期報告】申請者	医療法人社団活寿会 活寿会記念クリニック中之島	
再生医療等の名称	自家脂肪組織由来幹細胞(ASC)の投与による関節治療	
事務局受領日・事前審査日	2025/12/18	
議決不参加	なし	
【議論の概要】期間中実績77例83件、有害事象の発生はなかったとの報告を了承した上で、報告書を確認した。評価の方法についても妥当と認めた。席上、いずれの委員からも特段の異見はなく、全会一致で当該定期報告を妥当と認め、継続して差し支えないと決した。		
【結論】	適切	

計画番号/受付番号	PB3190075	
【定期報告】申請者	医療法人本庄福島病院 本庄総合病院	
再生医療等の名称	多血小板血漿(PRP)の投与による変形性関節症治療	
事務局受領日・事前審査日	2025/12/18	
議決不参加	なし	
【議論の概要】期間中実績5例5件、有害事象の発生はなかったとの報告を了承した上で、報告書を確認した。評価の方法についても妥当と認めた。席上、いずれの委員からも特段の異見はなく、全会一致で当該定期報告を妥当と認め、継続して差し支えないと決した。		
【結論】	適切	

計画番号/受付番号	PB3200115	
【定期報告】申請者	医療法人社団THE CLINIC Institute THE CLINIC東京	
再生医療等の名称	自家脂肪組織由来幹細胞(ASC)の投与による乳房組織欠損治療	
事務局受領日・事前審査日	2025/12/18	
議決不参加	なし	
【議論の概要】期間中実績2例2件、有害事象の発生はなかったとの報告を了承した上で、報告書を確認した。評価の方法についても妥当と認めた。席上、いずれの委員からも特段の異見はなく、全会一致で当該定期報告を妥当と認め、継続して差し支えないと決した。		
【結論】	適切	

計画番号/受付番号	PB5180014	
【定期報告】申請者	医療法人Nクリニック	
再生医療等の名称	多血小板血漿(PRP)の投与による変形性関節症治療	
事務局受領日・事前審査日	2025/12/18	
議決不参加	なし	
【議論の概要】期間中実績24例24件、有害事象の発生はなかったとの報告を了承した上で、報告書を確認した。評価の方法についても妥当と認めた。席上、いずれの委員からも特段の異見はなく、全会一致で当該定期報告を妥当と認め、継続して差し支えないと決した。		
【結論】	適切	

計画番号/受付番号	PB4180005	
【定期報告】申請者	医療法人社団明徳会 十全記念病院	
再生医療等の名称	多血小板血漿(PRP)の投与による関節治療	
事務局受領日・事前審査日	2025/12/18	
議決不参加	なし	
【議論の概要】期間中実績13例13件、有害事象の発生はなかったとの報告を了承した上で、報告書を確認した。評価の方法についても妥当と認めた。席上、いずれの委員からも特段の異見はなく、全会一致で当該定期報告を妥当と認め、継続して差し支えないと決した。		
【結論】	適切	

計画番号/受付番号	PB3230210	
【定期報告】申請者	慶友整形外科脊椎関節病院	
再生医療等の名称	変形性関節症および関節腔の傷害を対象とした自家多血小板血漿(PRP)療法	
事務局受領日・事前審査日	2025/12/18	
議決不参加	なし	
【議論の概要】期間中実績185例228件、有害事象の発生はなかったとの報告を了承した上で、報告書を確認した。評価の方法についても妥当と認めた。席上、いずれの委員からも特段の異見はなく、全会一致で当該定期報告を妥当と認め、継続して差し支えないと決した。		
【結論】	適切	

計画番号/受付番号	PB3230211	
【定期報告】申請者	長野松代総合病院	
再生医療等の名称	変形性関節症および関節腔の傷害を対象とした自家多血小板血漿(PRP)注入療法	
事務局受領日・事前審査日	2025/12/18	
議決不参加	なし	
【議論の概要】期間中実績7例7件、有害事象の発生はなかったとの報告を了承した上で、報告書を確認した。評価の方法についても妥当と認めた。席上、いずれの委員からも特段の異見はなく、全会一致で当該定期報告を妥当と認め、継続して差し支えないと決した。		
【結論】	適切	

計画番号/受付番号	PB7200018	
【定期報告】申請者	医療法人蔵本ウイメンズクリニック	
再生医療等の名称	子宮内膜に対する多血小板血漿(PRP)を用いた不妊治療	
事務局受領日・事前審査日	2025/12/18	
議決不参加	なし	
【議論の概要】期間中実績4例8件、有害事象の発生はなかったとの報告を了承した上で、報告書を確認した。評価の方法についても妥当と認めた。席上、いずれの委員からも特段の異見はなく、全会一致で当該定期報告を妥当と認め、継続して差し支えないと決した。		
【結論】	適切	

計画番号/受付番号	PB3200117	
【定期報告】申請者	はなおかIVFクリニック品川	
再生医療等の名称	子宮内膜に対する自家多血小板血漿(PRP)を用いた不妊治療	
事務局受領日・事前審査日	2025/12/18	
議決不参加	なし	
【議論の概要】期間中実績8例15件、有害事象の発生はなかったとの報告を了承した上で、報告書を確認した。評価の方法についても妥当と認めた。席上、いずれの委員からも特段の異見はなく、全会一致で当該定期報告を妥当と認め、継続して差し支えないと決した。		
【結論】	適切	

計画番号/受付番号	PB2210003	
【定期報告】申請者	医療法人社団三圭会 山形大手町ART クリニック 川越医院	
再生医療等の名称	子宮内膜に対する反復性着床不全を対象とした自家多血小板血漿(自家PRP)を用いた不妊治療	
事務局受領日・事前審査日	2025/12/18	
議決不参加	なし	
【議論の概要】期間中実績4例7件、有害事象の発生はなかったとの報告を了承した上で、報告書を確認した。評価の方法についても妥当と認めた。席上、いずれの委員からも特段の異見はなく、全会一致で当該定期報告を妥当と認め、継続して差し支えないと決した。		
【結論】	適切	

計画番号/受付番号	PB5210039	
【定期報告】申請者	HORACグランフロント大阪クリニック	
再生医療等の名称	卵巣に対する自家多血小板血漿(自家PRP)を用いた不妊治療	
事務局受領日・事前審査日	2025/12/18	
議決不参加	なし	
【議論の概要】期間中実績7例7件、有害事象の発生はなかったとの報告を了承した上で、報告書を確認した。評価の方法についても妥当と認めた。席上、いずれの委員からも特段の異見はなく、全会一致で当該定期報告を妥当と認め、継続して差し支えないと決した。		
【結論】	適切	